

エポマリンPC100 下塗

EPOMARINE PC 100 UNDERCOAT

| | | | | |
|------|--------------------------------|-------|-----|-------|
| 一般名称 | タンク内面用エポキシ樹脂塗料下塗 | | | |
| 適用規格 | — | | | |
| 系統 | タンク内面用アミンアダクト硬化エポキシ樹脂下塗塗料(2液形) | | | |
| 主な用途 | 【タンク内面用】 | | | など |
| 適用素材 | 鉄 | 亜鉛めっき | アルミ | ステンレス |
| | ○ | × | × | × |

特長
 1)耐薬品性、耐溶剤性を必要とするタンク内面などに 適する。
 2)強じんでき、耐摩耗性が優れている。
 3)厚塗り形高性能防食塗料である。

| | | |
|------|----------|-------|
| 塗料性状 | 塗料密度(比重) | 1. 19 |
| | 溶剤密度(比重) | 0. 86 |
| | 加熱残分 | 59% |

| | | |
|------------------|---|---------------------------------------|
| 法令など | ベース | 硬化剤 |
| 劇物表示 (品名・含有率) | — | — |
| 労安法上の 表示有害物 | キシレン、1-ブタノール、 メタノール、酢酸ブチル、 メチルイソブチルケトン エチルベンゼン | キシレン、トルエン、 メチルイソブチルケトン、 エチルベンゼン |
| 使用有機 溶剤種別 | 第2種有機溶剤等 | 第2種有機溶剤等 |
| 消防法による 危険物区分 | 第2石油類(非水溶性) | 第1石油類(非水溶性) |
| 硬化剤の成分 による区分 | 変性脂肪族ポリアミン | |
| ホルムアルデヒド 放散等級 | — | |

| | | | |
|------|----------|---------------|---------|
| 製品情報 | | ベース | 硬化剤 |
| | 荷姿 | 18kgセット | 14. 4kg |
| | 混合比(重量比) | ベース:硬化剤=80:20 | |
| | 主な色(色相) | ライトグリーン | |

素地調整
 ○被塗面は十分乾燥させ、汚れ等の不純物の付着がなく、清浄であること。
 ○水洗により塩分、水溶性汚染物質を除去する。適切な洗浄剤や溶剤で、油やグリースを除去する。
 ○詳細は塗装仕様書を参照ください。

| | | | |
|------|------------------|--|----|
| 使用方法 | 調合方法 | ベースに対して硬化剤を所定の割合になるまで少しずつかき混ぜながら加えたのち下記のシンナーを規定内で混入し、十分攪拌したのち使用する。 | |
| | 熟成時間 | 5~10℃の場合は10~15分間(10℃以上は不要) | |
| | 使用シンナー | テクトEP内面用シンナー | |
| | 希釈率(重量比) | エアレス: 0~10wt% | |
| | エアレススプレー 塗装条件 | 2次圧 10MPa(100kg/cm ²)以上 PNo. 163-619~623 | チツ |

エポマリンPC100 下塗

EPOMARINE PC 100 UNDERCOAT

使用量と膜厚

| 塗装方法 | 標準膜厚 | | 標準使用量 注) |
|------------|---------|---------|---------------------|
| | Dry(μm) | Wet(μm) | g/m ² /回 |
| エアレススプレー塗り | 100 | 250 | 460 |
| — | — | — | — |

注)標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間 塗装間隔 可使時間

| 項目 | | 5℃ | 10℃ | 20℃ | 30℃ | 40℃ | |
|-----------|-----|------|------|------|------|------|--|
| 乾燥時間 | 指触 | 3時間 | 3時間 | 2時間 | 1時間 | 1時間 | |
| | 半硬化 | 48時間 | 48時間 | 16時間 | 12時間 | 12時間 | |
| 標準塗装間隔 注) | 最短 | 48時間 | 48時間 | 16時間 | 16時間 | 16時間 | |
| | 最長 | 14日 | 14日 | 7日 | 7日 | 7日 | |
| 可使時間 | | 12時間 | 10時間 | 8時間 | 5時間 | 3時間 | |

注)上記数値は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。

実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程塗装してください。下記の主な適用上塗塗料を塗り重ねる場合です。

作業禁止条件 気温 5℃以下、湿度(RH%)85以上

主な適用 強溶剤: エポマリンプライマーPC

下塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

主な適用 強溶剤: エポマリンPC100上塗

上塗塗料 弱溶剤: —

ハイソリット: —

水性: —

耐熱温度(大気バクロ環境) 弊社に問い合わせください。

(短時間とは、概ね1時間以内を目安としてください。)

| 施工管理 用特数値 | 希釈率(wt%) | SVR(%) | WET/DRY係数 |
|--------------|----------|--------|-----------|
| | 0 | 43.3 | 2.3 |
| | 5 | 40.5 | 2.5 |
| | 10 | 38.0 | 2.6 |

【理論WET膜厚】=【目標膜厚】÷【SVR】 式または
【理論WET膜厚】=【目標膜厚】×【WET/DRY係数】式で
希釈率毎の管理WET膜厚が算出できます。
※SVR(Solid Volume Ratio)体積固形分であります。

安全情報

- 安全情報に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご確認の上、ご使用ください。
- 塗料が皮膚につくと人によってはカブレを起こすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。

貯蔵条件

本製品は特に水分の影響を受けないように保管してください。
高温多湿環境・直射日光を避け、密閉した状態で冷暗所で保管ください。

使用上の 注意事項

- 1) 塗料取り扱い時、塗装中および養生中は換気を十分に行い、火気厳禁としてください。
- 2) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
- 3) 素地調整はプラスト処理を行ってください。2種ケレンでは使用できません。
- 4) 塗膜は十分に乾燥させてから上塗りしてください。乾燥が不足していると塗膜劣化(フクレ)の原因になります。
- 5) 塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱いください。
本品の安全衛生上の取り扱いについては技術資料031「エポキシ樹脂塗料の使用上の注意」を参照してください。
- 6) 塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は、SDS(安全データシート)を参照してください。